

10 健康づくりの推進

○食育推進計画策定・管理事業（04010202） 1,370千円（128千円） 予算書 P138

[一財：1,370千円]

（目的及び期待する効果）

守谷市食育推進計画に基づき、食育事業を総合的に推進することにより、市民の食生活の健全化を図る。

（内容）

子どもから高齢者までの「食」を通じた健康づくり事業を、関係課及び関係団体と連携し実施する。平成28年度は計画期間の最終年度であり、評価及び見直しを行い、第二次守谷市食育推進計画を策定する。

○がん検診事業（04010204） 51,534千円（50,403千円） 予算書 P139

[その他：3,879千円 一財：47,655千円]

*その他積算根拠

[諸収入：胃がん検診負担金	1,130円×1,900人	=	2,147千円]
[諸収入：子宮がん検診負担金（施設）	1,640円×300人	=	492千円]
[諸収入：乳がん検診負担金（マンモグラフィ一方向）	820円×70人	≒	57千円]
[諸収入：乳がん検診負担金（マンモグラフィ二方向）	1,330円×70人	≒	93千円]
[諸収入：乳がん検診負担金（超音波）	820円×50人	=	41千円]
[諸収入：かくたん検診負担金	820円×30人	≒	24千円]
[諸収入：大腸がん検診負担金	410円×2,500人	=	1,025千円]

（目的及び期待する効果）

がん検診受診により、がんの早期発見、早期治療につながる。

（内容）

胃がん・子宮がん・肺がん・かくたん・乳がん・大腸がん・前立腺がんの各がん検診を実施する。子宮がん・乳がん検診は発症しやすい年代に、胃がん検診は、受診率が低い働く世代の40歳から50歳代に対する個別勧奨通知を送付し受診率向上を図る。さらに、精密検査対象者への受診勧奨を強化し、精密検査の受診率向上を図る。

また、市内中学校でがんに対する正しい知識の普及・啓発を目的に、がん教育を継続して実施する。



乳がん検診車

(単位：人)

検診名	実施方法	実施時期	受診人員 (見込み)
胃がん検診	集団検診	6月下旬・9月下旬～ 10月・1月下旬	2,600
子宮がん検診	集団検診	6月上旬・6月下旬～7 月上旬・11月中旬	1,200
	医療機関 (個別方式)	4月下旬～3月下旬	900
肺がん検診（65歳以上は結核 検診としても同時実施）	集団検診	6月下旬・9月・ 1月中旬	6,400
かくたん検診	集団検診	6月下旬・9月・ 1月中旬	50

乳がん検診	超音波	集団検診	6月上旬・7月中旬・ 11月中旬・1月中旬	450
		医療機関 (個別方式)	4月下旬～3月下旬	200
	マンモグラフィ	集団検診	6月上旬・7月中旬・ 11月中旬・1月中旬	850
		医療機関 (個別方式)	4月下旬～3月下旬	480
大腸がん検診		集団検診	6月下旬・9月下旬～10 月・1月下旬～2月上旬	3,500
前立腺がん健康診査		集団検診	6月下旬・9月・ 1月中旬	1,300

○健診結果相談会等フォロー事業 (04010205) 266 千円 (534 千円) 予算書 P139

[国・県：117 千円 一財：149 千円]

*国・県積算根拠

[県補：健康増進事業費補助金 117 千円]

(目的及び期待する効果)

健康教育事業と連動しながら、特定健診後の保健指導を強化することで、生活習慣病の合併症や症状の進展による重症化を予防し、医療費の適正化を図る。

(内容)

特定健康診査後、各公民館等で健康相談会を開催し、高血糖や高血圧、脂質異常者等への保健指導を実施する。また、特定健康診査の検査結果が基準値より高く、重症化につながりやすい対象者に、生活指導及び医療機関への受診勧奨を行う。

○乳幼児健康診査事業 (04010210) 5,187 千円 (5,642 千円) 予算書 P141

[一財：5,187 千円]

(目的及び期待する効果)

乳幼児健康診査の受診率を高め、疾病の早期発見に努める。さらに、保護者への保健指導や健診後の相談を通して、育児不安の解消に努める。

(内容)

各種健康診査を実施する。

(単位：回，人)

区分	健診名	実施回数	対象者数
集団	3～4 箇月児健診	24	652
	1 歳 6 箇月児健診	25	665
	3 歳 5 箇月児健診	26	671
個別	9～11 箇月児健診	医療機関で 個別に実施	652

○妊婦健康診査事業 (04010214) 57,110 千円 (60,615 千円) 予算書 P143

[一財：57,110 千円]

(目的及び期待する効果)

妊婦に対し、妊婦健康診査の助成 (14 回) を行い、定期的な受診を容易にすることにより、妊

娠中の病気の予防と早期発見に努める。

(内容)

妊婦健康診査の費用について、市で定めた額を上限に助成する。

予定延人数 7,700人

○小児定期予防接種事業 (04010218) 156,912千円 (161,059千円) 予算書 P143

[一財：156,912千円]

(目的及び期待する効果)

予防接種法に基づく予防接種の実施により、発病予防、重症化予防及び感染症のまん延の予防を図る。

(内容)

以下の予防接種について個別接種を実施する。市の基準単価を上限にかかった費用について助成する。

・定期予防接種 (単位：人)

予 防 接 種 名	予定延人数
B C G	687
四種混合	2,760
三種混合	10
二種混合	702
不活化ポリオ	195
MR	1,425
麻しん	2
風しん	2
日本脳炎	3,515
ヒブ	2,770
小児肺炎球菌	2,770
子宮頸がん	16
水痘	1,372

○小児任意予防接種助成事業 (04010219) 38,679千円 (35,134千円) 予算書 P144

[一財：38,679千円]

(目的及び期待する効果)

任意予防接種費の助成により保護者の経済的負担の軽減を図り、発病予防、重症化予防及び感染症のまん延の予防に努める。

また、先天性風しん症候群予防のため、妊娠を希望する女性及び妊娠中の女性の夫に対し接種費用を助成する。

(内容)

以下の予防接種について個別接種を実施し、市の基準単価を上限に掛かった費用について助成する。ただし、風しん(妊娠を希望する女性及び妊娠中の女性の夫)は、5,000円を上限に接種費用の半額を助成する。

・任意予防接種 (単位：人)

予 防 接 種 名	予定延人数
インフルエンザ (1歳～12歳)	5,060
インフルエンザ (13歳～15歳)	1,217
おたふくかぜ	785
B型肝炎	2,090
MR (定期接種ができなかった人)	10
風しん (妊娠を希望する女性及び妊娠中の女性の夫)	80

○高齢者予防接種助成事業（04010220） 18,777 千円（14,706 千円） 予算書 P144

[一財：18,777 千円]

（目的及び期待する効果）

予防接種法に基づく定期予防接種の実施（高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌）及び任意予防接種（定期の年齢該当外の高齢者肺炎球菌）の一部助成を実施し、高齢者の健康の保持に努める。

（内容）

以下の予防接種について個別接種を実施する。市の基準単価を上限に掛かった費用について助成する。

（単位：人）

予 防 接 種 名	予定延人数
高齢者インフルエンザ	6,850
高齢者肺炎球菌	1,661

○不妊治療費助成事業（04010222） 4,250 千円（4,250 千円） 予算書 P145

[一財：4,250 千円]

（目的及び期待する効果）

健康保険対象外で高額な治療費が掛かる特定不妊治療について治療費の一部を助成し、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図ることで、安心して不妊治療が受けられる。

（内容）

茨城県不妊治療費助成を受け市内に1年以上居住し、市税の滞納がない夫婦に対し、県の助成額を除いた金額に対し、1回あたり5万円を限度に助成を行う。

予定延人数 85 人